

1st Concert  
KAKEGAWA CITY  
CHORUS

*Takegawa*  
シティコーラス  
第1回演奏会

*Takegawa city chorus 1st concert*

2018年3月21日  
13:30 開演 (13:00 開場)

水・祝

掛川市生涯学習センター・ホール  
(掛川市御所原17-1)

主催

*Takegawa*シティコーラス  
(公財) 掛川市生涯学習振興公社  
掛川市



掛川市長  
松井 三郎

記念すべき *Kakegawa* シティコーラス 第1回演奏会が盛大に開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。また、開催にあたり、御準備にあられた皆様の御尽力に心より敬意を表します。

*Kakegawa* シティコーラスの皆様におかれましては、佐藤真澄先生の御指導のもと、活動をとおりて音楽文化の普及や合唱を通じた市民の交流、歌うことの素晴らしさを伝えていただき、誠にありがとうございます。

掛川市は、「教育・文化日本一」を目指し、「掛川市文化振興計画」の4つの基本方針「したしむ、つたえる、つくる、ささえる」のもと文化振興施策を推進しており、市内学校への地元演奏家を派遣しての出前講座や文化芸術団体に関する市民団体の立ち上げ支援などに取り組んでおります。

*Kakegawa* シティコーラスは、掛川市民の音楽活動の受け皿として、また音楽文化振興を牽引する団体として、掛川市及び掛川市生涯学習振興公社で立ち上げから支援を続けてきました。平成28年の結成以来、昨年3月に開催した姉妹都市交流記念事業コンサートや12月に開催した掛川市役所を舞台とした第九コンサートなど、市民が音楽に親しめる機会の創出に多大な貢献をいただいております。今後も活動をとおりて音楽の素晴らしさを伝えていただけると期待しております。

結びに、*Kakegawa* シティコーラスの益々の御発展と皆様の御活躍を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。



公益財団法人  
掛川市生涯学習振興公社  
理事長  
杉浦 靖彦

#### ～ 第1回演奏会によせて～

本日は年度末のお忙しい中、「*Kakegawa* シティコーラス 第1回演奏会」にご来場いただき、誠にありがとうございます。

(公財)掛川市生涯学習振興公社は、合唱熱の高い掛川市において、まちの合唱団として、平成28年度からこれまで *Kakegawa* シティコーラスの立上げ支援を行ってまいりました。合唱を通じ、歌う喜びと団員間の音楽交流を図り、市民に歌の素晴らしさを伝え、市民が集う新たな地域コミュニティの形成を目的とし活動しております。創立より佐藤団長を中心に、昨年3月のパチカンより日本へ祈りのレクイエム日本公演2017 in 掛川、8月の第41回掛川合唱祭、12月の第25回かけがわ第九公演が盛大に開催されました。

*Kakegawa* シティコーラスは、創立一周年を迎え、これまで培ってきた練習の成果を本日皆さまにご披露いたします。古典の名曲をはじめ、ジャズやポップスなどの軽快な曲もございますので、ぜひ最後までお楽しみいただきたいと思います。

結びに、講師及び団員の方々、そしてご支援、ご協力を賜りました皆さまに心より感謝申し上げます。

#### 団長あいさつ

本日は、*Kakegawa* シティコーラスの記念すべき第1回演奏会に御来場をいただき誠にありがとうございます。これも御来場の皆様はじめ多くの皆様のおかげであり、特に、シティコーラスの設立にあたっては、掛川市、(公財)掛川市生涯学習振興公社様の力強い御支援により今日の日を迎えることができましたことに、団員を代表いたしまして心より感謝を申し上げます。

さて、この合唱団の設立趣旨は、生涯学習をその精神に掲げる掛川市にとって、合唱経験のある、無いに関わらず幅広い年齢の方々ที่寄り添い、合唱文化の素晴らしさを共有し多くの方々に発信出来る合唱団でありたいと願って設立されたものです。合唱団としては幼い合唱団ではありますが、それぞれが様々な思いと情熱をもって練習に参加されています。本日は、少ない練習時間の中でなんとか演奏会を開催するに至りました。まだまだ経験不足な合唱団で御聴き苦しいところもあろうかと思いますが、団員の精一杯の歌声が皆様の心に届くことを願っております。

最後になりましたが、本日の演奏会にご出演をいただきました、コレギウム・ムジクム静岡管弦楽団、JAZZアンサンブル、ソリスト、ピアニスト、朗読を披露していただいた皆様に深く感謝を申し上げ御挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞごゆっくり御鑑賞ください。

*Kakegawa* シティコーラス  
団長 佐藤 真澄

## 1部： 1. A Little Jazz Mass

作曲 ポブ・チルコット

伴奏にピアノトリオを用いたジャズテイストなラテン語によるミサ曲です。グルーヴィーなキリエ、スウィングするグローリア、スローなサンクトゥス、軽快なベネディクトゥス、そしてブルージーなアニュス・デイの5曲で構成されています。ポブ・チルコットはイギリスの音楽アンサンブルグループ「キングスシンガーズ」のメンバーとして活動後、作曲家として活躍しています。

## 2. イパネマの娘

作曲 アントニオ・カルロス・ジョビン

ブラジルのアントニオ・カルロス・ジョビンが、1962年に作曲したボサノヴァの名曲として多くのミュージシャンが演奏しています。本日は、この曲をジャズテイストたっぷりにお送りします。

## 3. 男声合唱のための唱歌メドレー「ふるさとの四季」

作曲 源田 俊一郎

教科書から唱歌がどんどん消えつつあるこの時代にこそ、歌いつないでいきたい曲がたくさん出て来ます。

## 4. さくらもこの詩による女性合唱曲集「ぜんぶここに」より“ぜんぶ”

作詞 さくらももこ 作曲 相澤直人

ちびまるこちゃんでお馴染み、さくらももこさんの詩集からの女声合唱作品集です。震災以降、特に「ぜんぶ」は多くの合唱団で歌われたそうです。歌が祈り、仲間と通ずるものとして今、ここに存在することに感謝をしたいと思います。

## 5. 恋

作詞・作曲 星野 源 編曲 石若雅弥

恋は、現代社会における新しい価値観として“恋”の多様性を歌っているところが、音楽評論家からも評価されています。テレビドラマ「逃げるは恥だが役に立つ」の主題歌としても使用されました。団員のダンスと打楽器“カホン”の響きにもご注目ください。

～ 休憩 ～

## 2部： 6. プロメテウスの創造物 より 序曲

作曲 ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

プロメテウスの創造物は、バレエ音楽で1800年に作曲されました。初演当時は好評を博したとされていますが、現在、序曲以外はほとんど演奏されることはありません。曲調は爽快で元気な1曲で、初めて聴かれる方でも充分楽しめる曲です。

## 7. 朗読「ベートーヴェンの生涯と音楽 ～第九初演まで～」

昨年9月開講の「ふじのくに子ども芸術大学」朗読&ピアノコラボ公演で披露された作品の中から本日は同講座の講師と受講生2名による朗読でお聴きいただけます。台本は、フランスの作家ロマン・ロランが綴った伝記「ベートーヴェンの生涯」をもとに編集しています。(演奏音源提供：ピアニスト・奥村友美)

## 8. 交響曲第9番「合唱付き」より第4楽章

作曲 ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

ベートーヴェンが1824年に作曲した独唱と合唱を伴う最後の交響曲です。歌詞にはシラーの詩「歓喜に寄す」が用いられ、第4楽章の主題は「歓喜の歌」としても親しまれています。本日は、コレギウム・ムジクム静岡の皆様の素晴らしい楽器の音色とともにお送りします。

合唱

## Kakegawaシティコーラス

平成28年10月に(公財)掛川市生涯学習振興公社の支援をいただき設立された合唱団。現在団員は110名。ヘンデル、モーツァルト、ベートーヴェン等の外国語による合唱作品や日本の合唱作品。また、新しいスタイルの作品まで、幅広い音楽表現を求めて様々な合唱音楽に挑戦している。これまで合唱経験が無い方も多く在籍し、合唱音楽の素晴らしさを市民の皆様に届けられるよう練習に取り組んでいる。



### ソプラノ

青野 沙穂里	石橋 由紀	石山 節子	伊藤 孝子	内山 真理子	太田 とし子	兼子 美紀
河合 敏江	北野 弓	桑原 洋子	佐久間 美幸	佐藤 綾香	佐藤 久美子	佐藤 美咲
佐藤 美穂	潮見 美千代	篠塚 まるみ	杉 浩子	杉山 房子	鈴木 道子	鈴木 緑
高橋 千恵	多久島 みゆき	田中 克美	中山 都	平野 和子	平野 智恵	増田 真弓
松村 かをる	三好 タケ	村井 仁子	村松 功子	山崎 文代	山鹿 戸味江	山本 きみ系

### アルト

安藤 里美	飯田 宏美	石上 喜代子	石川 さと子	伊藤 ふみ子	岩林 実和子	内野 み乃り
大澤 恵子	大畑 律子	大村 容子	小澤 優子	加藤 泰子	金子 利枝子	川久保 知美
久野 美恵子	久保田 美代子	久保田 恩	久米 多津子	坂田 明美	杉山 ふさ系	鈴木 和枝
鈴木 紀子	鈴木 美枝子	関 旬子	高橋 由実	竹下 享子	土井 米子	中島 輝代
中島 秀子	中村 和枝	橋本 慶子	服部 光世	林 彰子	堀内 泰子	前田 公子
松浦 悦子	松浦 正子	水谷 久美	宮崎 文	守屋 美知子	八木 美幸	山田 恵美子
山本 朝子	山本 泰子	吉岡 裕子				

### テノール

石橋 博雄	大家 健一	大澤 政雄	岸本 昌之	清水 欽次	杉山 嘉一	鈴木 文悟
高橋 雅人	西尾 祐二	三浦 文一	宮脇 順彦	山崎 重高	鷺山 陽一	

### バス

大村 茂満	加藤 裕弥	佐野 克行	中島 佐吉	成田 幸二郎	橋本 一雄	三浦 正貴
村松 博司	渡辺 正					



指揮

### 佐藤 真澄

声楽を森明彦氏、鬼頭礼子氏に師事。これまでに「メサイヤ」「フォーレレクイエム」「第九」等のソリストを務める。静岡県演奏家協会の会員としても演奏活動を行ってきた。静岡県立掛川西高校音楽科教諭。掛川西高校吹奏楽部、音楽部の音楽監督。静岡県合唱連盟理事。ふじのくに文教創造ネットワーク理事。



ピアノ伴奏

### 戸塚 範子

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。全日本演奏家協会新人オーディション合格。同推薦コンサートに出演。他、主に声楽の伴奏者として活動。浜松シティオペラ協会、静岡室内歌劇場会員。常葉大学非常勤講師。



ピアノ伴奏

### 笹原 佑里

浜松学芸高等学校音楽科を経て、アントンブルックナー私立音楽大学(オーストリア)卒業。現在、演奏活動の傍ら後進の指導にもあたる。ピティナ新人指導者賞、指導者賞受賞。

管弦楽

コレギウム・ムジクム静岡

合唱団との共演を機に結成、1995年に管弦楽団として独立した活動を始める。この間メサイア全曲を12回演奏する等、合唱団との共演も多数。オーストリア、ザルツブルクへの2度の海外公演も果たした。今年は夏に掛川出身でブダペスト在住のバイオリニスト長尾春花さんをソリストに迎え、ハンガリー演奏旅行を計画している。



ソプラノ

岡本 実佳



武蔵野音楽大学声楽科卒業。イタリアミラノにて6年間研鑽をつむ。国内外多数のオペラ、コンサートに出演。昨年9月浜松にて「イルトロヴァトーレ」レオノーラ役にて好評を博す。ベルカントコンクール1位。他国内外多数のコンクールで受賞。菊池英美、L.ヴァスタ、L.ゴルラ 諸氏に師事。藤原歌劇団正団員。浜松市在住。

アルト

辻村 幸子



昭和音楽大学短期大学部声楽科卒業。同専攻科修了。オペラ「魔笛」第3の少年、「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼル、「フィガロの結婚」ケルビーノ、「こうもり」オルロフスキー、「アマールと夜の訪問者」アマールの母役で出演。東京二期会会員。

テノール

村上 達哉



国立音楽大学声楽科卒業、東京国際声楽コンクール3位入賞(読売新聞社賞受賞)、全日本ソリストコンテスト声楽部門最優秀賞。オペラ/トロヴァトーレ、オテロ、アイダ、蝶々夫人、椿姫、ラ・ボエーム、夕鶴、など多くの主役を演ずる。藤原歌劇団正団員、静岡室内歌劇場団員、田口興輔、田島好一の各氏に師事。

バリトン

鷺見 誠一



東京音楽大学大学院修了。在学中よりオペラに多く出演し、これまでに名古屋二期会、浜松市民オペラなどでソリストを務める。歌曲の分野では、シューマン『詩人の恋』を取り上げたリサイタルを浜松、掛川で開催し、いずれも好評を博している。

ギター

富塚 章



東京杉並生まれ。小学生の頃からギターを始め20才の頃よりプロ活動を始める。中国語や韓国語に翻訳された「ザ、ギター」や音楽大学の教科書にも採用された「初めてのジャズ」等著書多数。掛川市在住。

ベース

鈴木 辰美



コントラバスを弾きたくて高校吹奏楽部に入部するも空きがなく、チューバを担当。社会人となって後ジャズのコントラバスに転向。ビッグバンドからコンボジャズまで様々なバンドで活動している。

ドラムス

河辺 智美



東京ミュージック&メディアアーツ尚美、音楽総合アカデミー学科打楽器コース卒業。現在、静岡県にて数々のイベントに出演、Live活動もしながらジャンル問わず幅広くフリーで活動中。アクトシティ音楽院指導者派遣講師。



朗読

堤腰 和余

朗読家、司会者。言葉の持つ意味を声によって表現し、豊かな物語の世界を伝えたいとの思いから「堤腰和余ひとり語り」をこれまでに126回開催。そのほか、小・中学校での指導など朗読の魅力や奥深さを伝え続けている。K朗読研究会主宰。H&V代表。浜松市出身。

ふじのくに子ども芸術大学 創造体験講座 受講生

竹内 菜摘 (中学1年 浜松市) 小嶋 花歩 (小学5年 掛川市)

《ふじのくに子ども芸術大学》

静岡県では、子どもたちが、第一線で活躍する芸術家との交流を通じて「優れた文化芸術に出会い、身近に親しむ」機会を提供するため、小中学生を対象とした個人参加の創造・体験講座「ふじのくに子ども芸術大学」を毎年開催している。昨年掛川では「朗読にチャレンジして、ピアノ演奏とコラボしよう！」(全3回、企画・主催：ふじのくに文教創造ネットワーク)が開催され、県中西部の小中学生が受講した。



*Kakegawa city chorus*

*1st concert*

2018.3.21

